

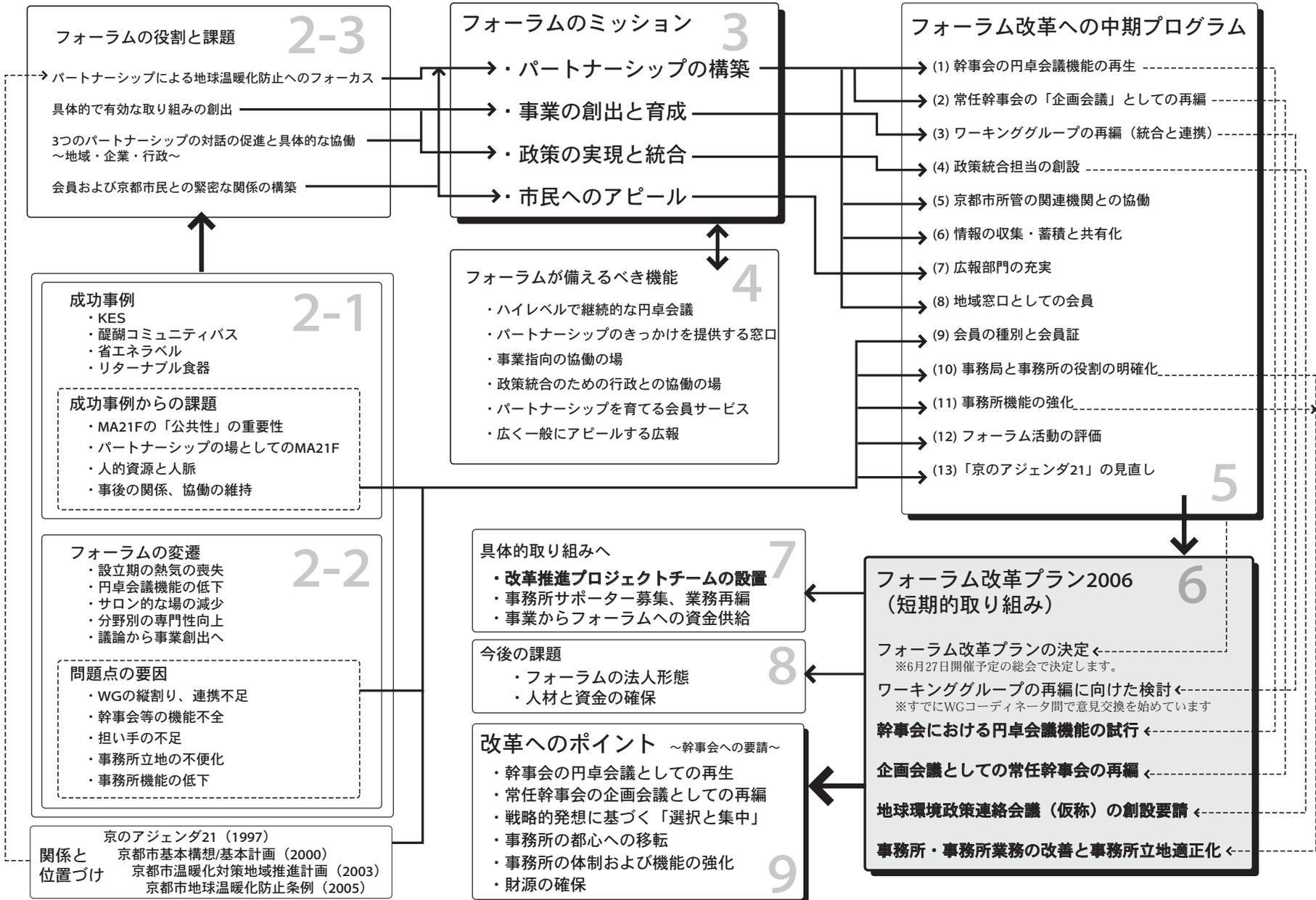
# 京のアジェンダ 21 フォーラム 改革推進プロジェクトチームによる 2006 年度改革推進方針の提案

この提案書は、2005年10月～2006年3月の「戦略検討委員会」の成果を踏まえて、2006年5月16日「フォーラム改革推進プロジェクトチーム」で検討を加え、同チームのコーディネータが幹事会へ付託するためにとりまとめたものです。

## 目次

- P2 改革への提案の流れ  
(戦略検討委員会から幹事会への報告チャート)
- P3 フォーラム改革プラン 2006  
(戦略検討委員会報告 P15 抜粋)
- P4 フォーラム改革の目標と  
改革への取り組み項目の整理
- P5～8 2006 年度の取り組み方針案  
(コーディネータからの5つの提案)
  - 1 組織の改革 (幹事会・常任幹事会)
  - 2 ワーキンググループの改革
  - 3 事務局 (市役所および事務所) の改革
  - 4 情報・広報・交流の改革
  - 5 京のアジェンダ 21 および規約の見直し
- P9 2006 年度・改革推進スケジュール案

2006年5月19日 (改訂)  
京のアジェンダ 21 フォーラム事務局  
改革推進プロジェクトチームコーディネータ (山田章博)



# フォーラム改革プラン 2006

## ～フォーラム改革への短期的な取り組み～

改革プログラムの内、平成18年度から早急に着手すべきものを以下に掲げる。

### (1)フォーラム改革プランの決定

フォーラム改革に向けたプランを幹事会で決定し、これを平成18年度総会に報告するとともに、これに基づく事業計画および予算を総会に提案する。

### (2)ワーキンググループの再編に向けた検討

各ワーキンググループは、具体的な「事業」「政策統合」のための実務的パートナーシップと、広範な「議論」を通じた対話的パートナーシップの機能の切り分けを行い、その結果を持ち寄って、WG全体の再編について具体的な方向を検討する。

基本的な方向性は、タスクチーム（またはプロジェクトチーム）に具体的な事業推進を集中し、複数のタスクチームが交差的に連携する場をワーキンググループとする。

### (3)幹事会における円卓会議機能の試行

全市的かつ広範な関係者が関わる「課題」について、ワーキンググループなどから問題提起を行い、幹事会における「円卓会議」機能の再生を試行する。

### (4)フォーラム企画会議としての常任幹事会の再編

現在の常任幹事会を「フォーラム企画会議」として位置づけ、フォーラムが行う事業・活動について、その内容に踏み込んだ検討および評価を行う。

年度初頭は、地球温暖化対策課が所管する事業について、フォーラムの関わりと役割を明確にするとともに、ワーキング

※このページは戦略検討委員会報告P15を組み替えたものです。  
前ページのチャート右下「6」に対応しています。

グループ等の活動計画案を決定するための会議を開催する。

また、京都市の年度予算・施策事業を検討し、市民・地域・NPO・企業などとのパートナーシップのもとに地球温暖化の観点から進めるべきものを抽出する。

また、予算編成期に先だって、次年度の京都市の施策に対する意見をとりまとめる。

### (5)地球環境政策連絡会議（庁内会議）の創設要請

京都市の庁内に「地球環境政策連絡会議（仮称）」の創設を求める。年度初頭に、京都市の年度事業についてパートナーシップで地球温暖化防止施策を進めるべきものを提示し、フォーラムが仲介役となって施策・事業効果の向上を図る。

予算編成期には、次年度予算（施策・事業）について、地球温暖化防止に向けたパートナーシップによる取り組みを重点的に進めるべき分野・施策を示し、その予算化を推進する。

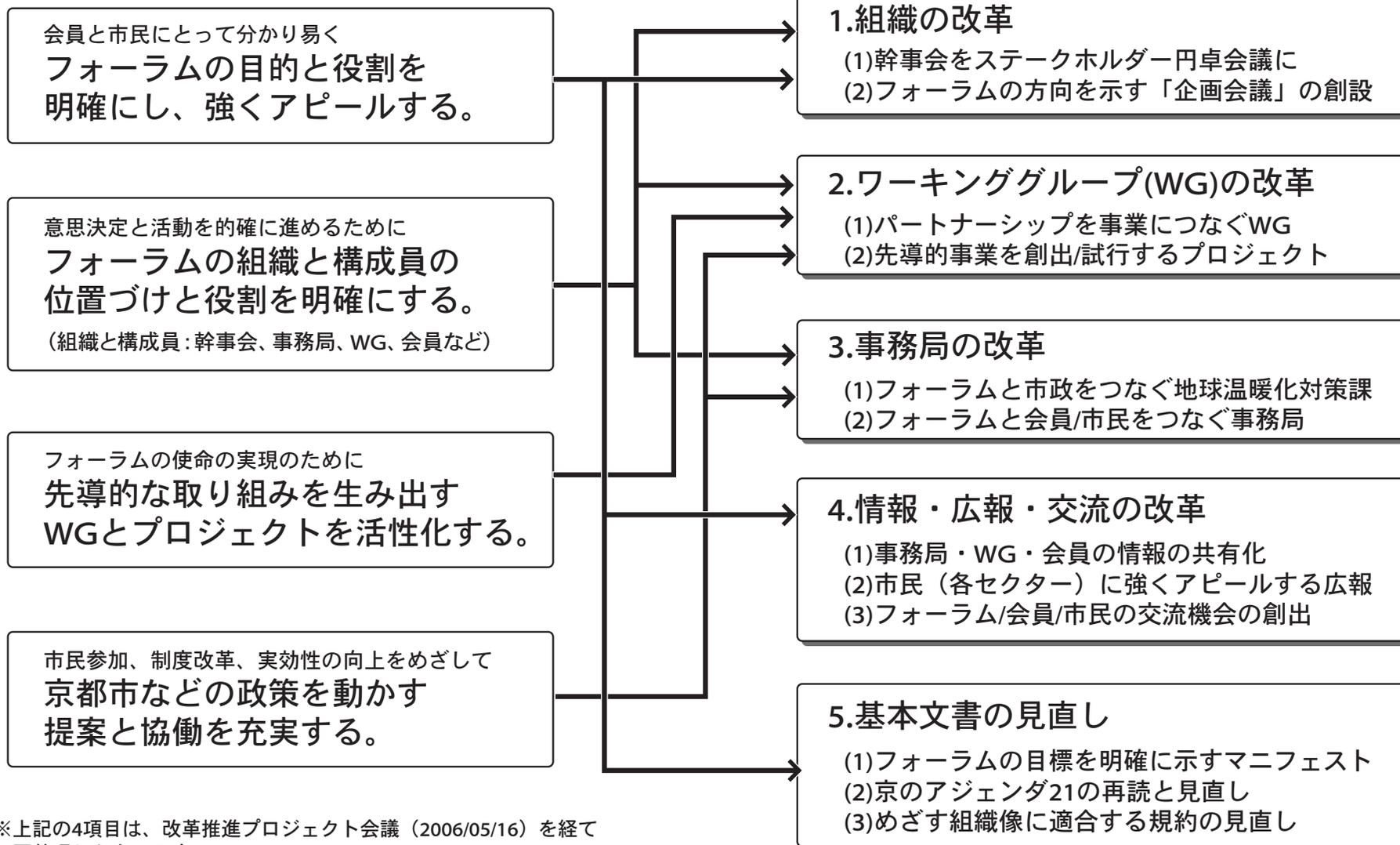
### (6)事務所・事務局業務の改善と事務所立地の適正化

事務所および事務局の業務範囲と分担を明確化するとともに、業務計画を作成し、定期的な進捗チェック、業務執行を適正に管理する。あわせて、現在の事務所業務の内、重要度の低いものやWG等で担いうるものは思いきってスリム化する。

その上で、必要な人員および人材、設備などを再検討し、あわせて、事務所の立地の最適化に向けて、場所および財源を含めた具体的な検討を進める。

## フォーラム改革の目標

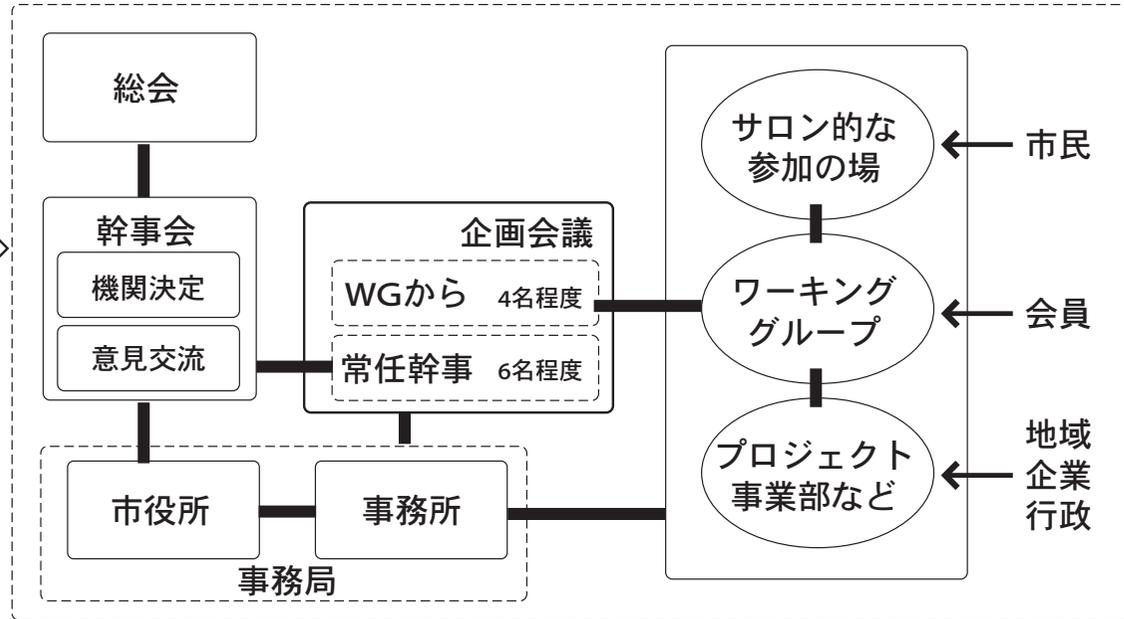
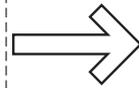
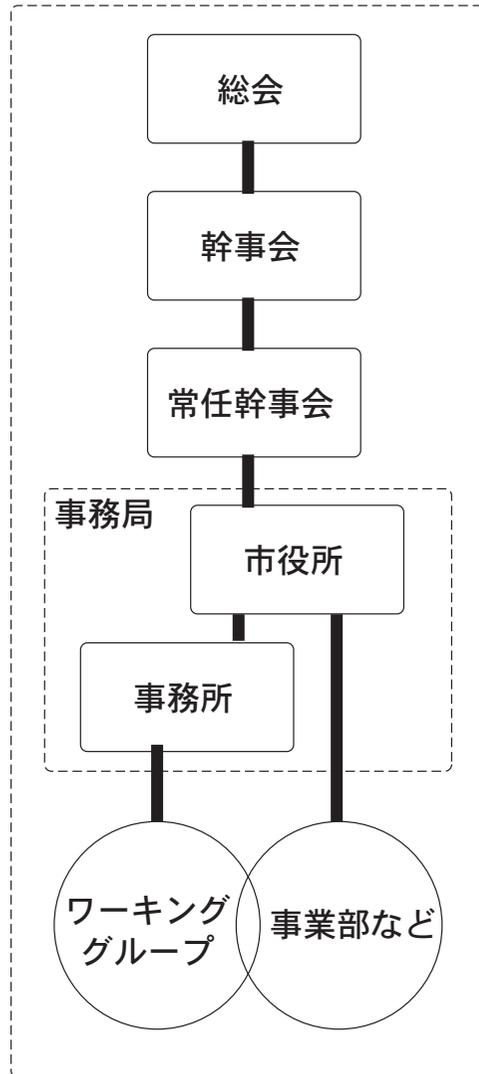
## フォーラム改革への取り組み項目



※上記の4項目は、改革推進プロジェクト会議(2006/05/16)を経て再整理したものです。

# 1 組織の改革 (幹事会および常任幹事会)

組織改革のイメージ例



## 幹事会の改革と活性化

- ・ 幹事会は幅広いステークホルダーによるフォーラムへの関与の場として再生する  
(現状は、機関決定事務のみを行う形式的なものとなっている)

- (1) 幹事会の主目的を幹事相互の「意見交換」とフォーラムへの「助言」に置く
- (2) この目的にふさわしい構成となるよう、幹事の人選を見直す

## 具体的な取り組み例

- (1) 幹事会に毎回、幹事からの発言（提案、報告、相談など）の時間を設ける
- (2) 毎年、幹事からフォーラムへの提言などを集めて、HPなどに掲載する
- (3) 幹事会のHPや幹事ブログを設けて、日常的に提言などを集める
- (4) 毎年、幹事を囲む「ステークホルダー交流会」を開催する

## 常任幹事会の改革方向

- (1) 常任幹事会は、フォーラムの活動を方向づける「企画会議」に発展させる
- (2) 常任幹事（企画担当）とWGコーディネータ等で構成する
- (3) 企画会議はフォーラム活動方向の選択、資源集中の方針を示す

## 2 ワーキンググループの再編

### 問題点

- ・限られた資金や人材を多数のWGが分け合っている
- ・専門分化し、プロジェクト型になり初心者が入れない
- ・WGの分化が分野間横断的な取り組みを阻害している

### 4つの目標はいずれも必要だが... ←

WGコーディネータ間の議論で改革の必要性は合意済み

→全てを一度に行うことはできない

→優先順位とスケジュールが必要

- 1.まず、減数を前提にWG間で試行と調整
- 2.減数後に、WGとプロジェクトの横断的關係を形成
- 3.セクター別の場と市民窓口のあり方を検討

### 4つの目標

#### WGの統合と減数

人材資源の有効活用と分野間の交流/連携の促進

各WGでの議論

統合的活動の試行

再編枠組みの決定

#### WGとプロジェクトの分離

- ・WGは「パートナーシップ」形成、プロジェクトは「事業推進」を主に
- ・フォーラムが支援するプロジェクトは「事業」としての自立と継続が前提
  - プロジェクトは会員企業/NPO等のグループが運営主体となる
  - フォーラムはこれを支援：資金、人材人脈、情報など

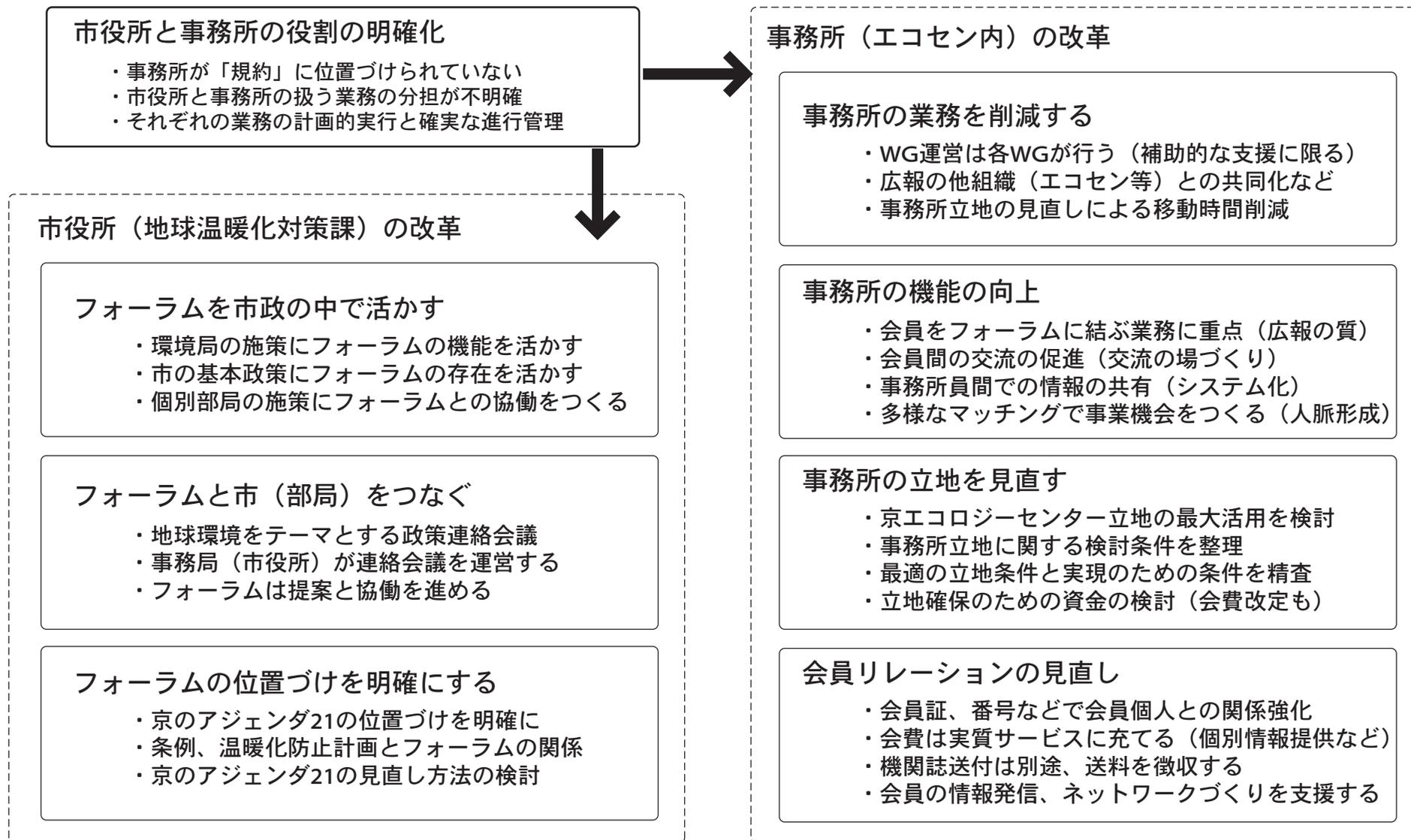
#### セクター別の場づくり

地域：区役所などを通じて、地域との対話の回路をつくる  
企業：企業活動WGなどを通じて、対話と事業創出をめざす  
行政：庁内に「連絡会議」を設置し、フォーラムが参加する

#### 市民に開かれた窓口、機会

総会：もっと会員の交流や情報交換、参加機会発見の場にする  
サロン：WG持ち回りテーマなどでオープンな対話の場をつくる  
まつり：会員が市民にアピールする場「アジェンダまつり」など

### 3 事務局（市役所および事務所）の改革



## 4 情報・広報・交流

### 情報の共有化の促進

- ・ 会員が持つ情報を会員間で共有する
- ・ WGの情報や資源をWG間で共有する
- ・ 新しい動き、環境関連事業情報を伝達する
- ・ 事務局、事務所の情報管理を効率化する

→Webベースの情報共有機能をどう活かすか

### 広報の手法の見直し

- ・ 月刊、季刊、カレンダーなどの目的と機能の整理
- ・ Webでの情報集約、蓄積を基本資源として
- ・ コストのかからない配信方法（メールなど）
- ・ 会員の個別ニーズに沿った情報の選別

→郵送型からネット中心へ（郵送は有料に）

### 会員を中心とする「交流」の機会づくり

- ・ ゆるやかなテーマで、なごやかな意見交換の場を  
→WG持ち回りでのサロン、発表会、相談会など
- ・ 先進事例、ステークホルダーとの対話の場を  
→総会などの機会を活かして
- ・ 会員以外の一般市民が楽しんで参加できる場を  
→エコセンと共同で「まつり」など

## 5 京のアジェンダ21と規約の見直し

### 京のアジェンダ21をきちんと読もう

- ・ 現在のフォーラムとの整合に着目して
- ・ 提案、会合などの際に、照らし合わせて  
→これからのフォーラムの方向を重視して  
→見直し、改訂の必要性を抽出、確認する

→意見を集めて、改訂検討へ

### 京のアジェンダ21の改訂の方法は？

- ・ 改訂の方法はどこにも書かれていない
- ・ 市民の協働で作成し、市が認めたもの  
→策定時と同じプロセスが必要か？

→アジェンダの位置づけから再検討する  
→フォーラムがつくる計画としての位置づけも

### 規約の見直し

- ・ 現在、規約はHPから見るができる  
→まず、規約を読み直す
- ・ 幹事会、事務局などの改革方針に沿って
- ・ 事務所や企画会議を規約に位置づける  
→改革方針の確定を受けて、幹事会へ提案

2006年度 改革推進スケジュール案

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>組織の改革</b> 幹事会・常任幹事会など 優先度B	幹事会 ○ 交流機能の提案		企画会議(仮) ● 常任幹事会からの改組への試行		企画会議 ● 事務局と事務所の改革方針	○ 幹事会		企画会議 ● WG再編について		企画会議 ●○ 幹事会 会員制度と規約、MA21見直しについて	
<b>ワーキンググループの再編</b> 優先度A	WG内での方針検討 ●		統合WG活動の試行 総会時に意見交流		再編方針の決定 問題点の抽出		統合WG活動への移行・調整				
<b>事務局・事務所の改革</b> 優先度A	問題点の洗い出し	●	改革方針の内部検討 総会時に意見交流		WG等意見聴取	改革方針の試行		新体制の構築	新体制での業務推進		
<b>情報・広報・交流</b> 優先度B			会報・会員など改革の具体案検討 ●	意見収集	広報手法改革着手	事務情報改善着手	会員間情報交流着手		新システムの始動	会員制度見直し着手	
<b>京のアジェンダ21規約の見直し</b> 優先度C		「読もう」呼びかけ		●	意見交流	MA21見直し提案収集		MA21見直し方針検討	MA21見直し手法検討	規約見直し	
<b>関連スケジュール</b>		● 総会	○ アジェンダまつり	● 2007年度概算要求(市)			2007年度予算編成(市)		2007年度事業計画作成	地球温暖化防止行動キャンペーン ● 京都議定書発効二周年	